

咲がそら、いのち

日蓮大聖人の教えを正しく伝える法華宗



## ジャータカ物語 「美しい声」

ジャータカとはお釈迦さまが前世で動物や人間として生を受け、衆生を救うといった善行の話を集めた古代インドの仏教説話集のことです。今回はそのジャータカの中からある王様とその母親の物語を紹介します。

昔ある国に若く聡明な王様がいました。国は平和でしたが、王様にはたった一つ悩みがありました。それは王様の母親が短気で荒々しく、また人の悪口を言うことでした。王様は心配し、母親の気性を直したいと常日頃から考えていました。

ある天気の良い日、王様は母親を散歩に連れ出しました。そこに一羽の美しいカケスが飛んできて木の枝にとまりました。カケスが鳴き始めると、そのあまりにひどい鳴き声に皆耳をふさいでしまいました。またしばらく庭園を歩いてみると、今度はコーキラ鳥がとまっていました。コーキラ鳥は黒くきたなく見える鳥でしたが、その鳴き声は大変美しく、皆コーキラ鳥の美声に夢中になったのでした。

そこで王様は思い立ち、母親に静かに語りかけます。

「母上、カケスは美しい姿ですがひどい鳴き声のため疎まれました。コーキラ鳥はみにくい姿でも鳴き声が美しく皆に愛されます。鳥ですらそうなのですから、それが人であればいうまでもありません。どうか怒りにまかせて悪口を言うのはやめてください。」

母親は日頃の自分のひどいふるまいに気づき、それから穏やかになり、声を荒げることもなくなったということです。

古来より人間には戒めるべき十の悪行があるといわれ、その中には悪口(他人を傷つける言葉を使うこと)や瞋恚(怒りの心を抱くこと)が含まれています。

最近誹謗中傷による事件や煽り運転による交通事故などをよく耳にします。これらはまさに悪口と瞋恚によって引き起こされた事件といえるでしょう。さらに現代社会においてはSNSなどの匿名性がこれらを助長している状況であります。

このような時代だからこそ、私たちはこの物語を教訓とし、感情のままに行動するのではなく、怒りの心をコントロールし、そして常に相手の気持ちや立場を考え発言をしなければなりません。他者を思いやる心が社会をより良い方向へ向かわせるのです。

ジャータカは遠い昔の物語などではなく、まさに現代を生きる私たちが学ぶべきお釈迦さまの教えといえるでしょう。

参考 中村元・増谷文雄監修『仏教説話選書 ジャータカ物語(三)』法蔵館、一九八八年





# 法華宗

一天四海皆歸妙法 お題目総下種運動

## 咲かそう、いのち

—宗祖日蓮大聖人聖誕 800年—

### 法華宗オリジナル鶴丸チャーム付き念珠 鶴丸チャーム販売開始

108珠の本式数珠でご先祖様のご供養を！  
ご自身はもちろん、お子様やお孫様への贈り物に！  
数珠の由来、持ち方などの解説書付きです。



### チャームのみの 販売もあります

鶴丸チャーム  
(2cm×1.5cm)

400円

フック付きで様々な場所に  
取り付けられます



※写真は男性用星月菩提樹です。

#### 男性用(約32cm)

せいげつぼだいじゅ とらめ

- 星月菩提樹 (虎目・房色金茶・桐箱入) ————— 10,000円
- 素挽黒檀 (虎目・房色からし) ————— 6,000円
- 正梅 (翡翠・房色柳) ————— 5,000円

#### 女性用(約25cm)

せいげつぼだいじゅ ひすい

- 星月菩提樹 (翡翠・房色利休・桐箱入) ————— 9,000円
- 素挽紫檀 (瑪瑙・房色ピンク) ————— 5,500円
- 正梅 (瑪瑙・房色朱) ————— 4,500円

寺院 教会名

<http://www.hokkeshu.or.jp/>

法華宗教化センター

〒103-0013

東京都中央区日本橋人形町2-19-1 法華宗宗務院内

TEL.03-5614-3055 FAX.03-5614-3056



R3.9.1

111号